

助教・助手展 2021

武蔵野美術大学 助教・助手研究発表

Exhibition 2021

Research Associates and Research Assistants



武蔵野美術大学における助教・助手は、日々の研究室運営を担う一方、制作・研究に取り組む一人の作家、デザイナー、研究者として多方面で活躍しています。本展は、彼らの創作活動や研究成果を学内外に広く紹介する場として開催するものです。美術・デザインの幅広い領域に渡る57名の作品を、一堂にご覧いただくことができます。

本展は、枠にとらわれない挑戦的な作品が集う一方で、出品作家自身が企画運営に携わり、毎年特色ある展示を作り上げる点も特徴の一つといえます。1976年の第1回より2019年まで開催されてきた「助手展」では、日々の研鑽の成果を示すことを目的に、主体性・能動性を重視した展覧会運営の精神が受け継がれてきました。43回目を数える本展は、2020年本学に助教制度ができて以降初の「助教・助手展」となります。展覧会規模もこれまでよりさらに大きく、また有志による展覧会運営となったことにより、一層開催年の独自性が前面に出された展覧会となるでしょう。


同時代に生きる表現者たちによる多彩な作品の数々に加え、彼らが柔軟な発想で作りあげた展覧会企画を通し、新たな表現の可能性を感じていただく機会となれば幸いです。

参加作家

秋山亮太、浅沼恵美、内堀麻美、宇都宮麻香、大井直人、太田琢人、大野陽生、大山真莉香、岡野紗咲、荻野楓子、小野寺正人、風間南楓、柏木優希、川名晴郎、木村桃子、金真希、熊谷慶、郡祐太郎、齊藤啓輔、鮫島慧、塩見瑠璃子、志田真菜実、柴田有紀、島谷達廣、白鳥佐和、杉内あやの、制野郁弘、瀬川哲朗、関根亮、高澤聡美、たかはしけいこ、多持大輔、手嶋遥、寺元詩織、所彰宏、外山和洋、永井天陽、中村葵、夏目菜々子、根本佳奈子、濱田綾音、林深音、肥田野優希、日比さつき、星野曜、細井えみか、増山透、松尾野の花、松塚実佳、松本聖典、宮寺彩美、宮本万智、椋本真理子、森洋樹、山本亜由夢、山本麻璃絵、若林穂乃香（計57名、五十音順）小山さくら、高森理亜、三浦文我（展覧会運営として参加）

関連イベント

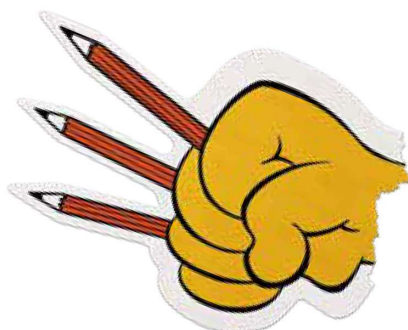
助教・助手展 YouTube チャンネルにて、多数動画を配信予定です。

 https://www.youtube.com/channel/UCM-_4-FralOwcw4eR_96VrA

 @mau_m_l  mau_jokyo.joshuten



「助手展 武蔵野美術大学助手研究発表」過去展示風景 撮影：いしかわみちこ



武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

TEL : 042-342-6003

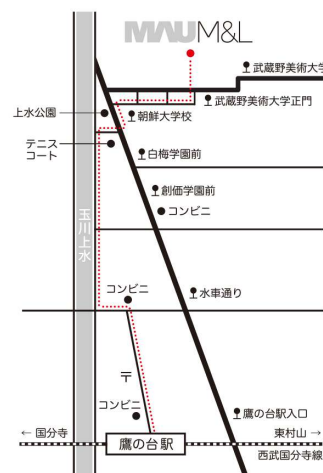
<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>

入館予約の詳細は web サイトでご確認ください



アクセス :

- ・西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
 - ・JR 中央線「国分寺」駅北口4番停留所より西武バス「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗り、「武蔵野美術大学正門」停留所下車（バス所要時間：約25分）
 - ・JR 中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス「武蔵野美術大学」行に乗り、「武蔵野美術大学」停留所下車（バス所要時間：約25分）
- ※お車でのご来館はご遠慮ください



同時開催展覧会

牧野良三——舞台美術における伝達と表現
2021年11月29日(月)-12月21日(火)

民俗資料室ギャラリー展示 29 運ぶ——文化とかたち
2021年10月25日(月)-12月18日(土)